

農場の防疫に取り組みましょう！

大切な家畜を病気から守るために

農場への伝染病などの病原体の侵入を防ぐため、【消毒】は、防疫対策の大切な作業です。消毒の中でも、【石灰散布】及び【踏み込み消毒槽の設置】は簡単で効果の高い方法です。以下のポイントを参考に、今日からすぐに始めてください。

【消毒前の準備】

1. 有機物が残っていると消毒の効果が低下してしまうので、消毒を行う前には、靴底の泥や畜舎の汚れを落としましょう。
2. 床面などに水分が残っていると消毒の効果が低下してしまうので、消毒を行う前にはしっかりと乾かしましょう。
3. 可能な限り、農場の入口を1か所にしましょう。

【石灰散布】

地面が真っ白になるまで消石灰を撒きましょう。

目安は1平方メートルに0.5～1キログラムです。雨や車が通って黒い地面が見えてきたらまた撒きましょう。

【注意】

消石灰は目や粘膜に刺激がありますので、散布する際はマスクやゴーグルをしましょう。

消石灰は、アルカリ性なので、酸性の消毒薬と同時に使うと意味がありません。消石灰を撒いた上に酸性の消毒薬を使うのは効果もありませんし、有毒ガスが出る可能性もあるのでやめましょう。

散布する際は、手袋、マスク、ゴーグルを着用しましょう。



【踏み込み消毒槽の設置例】



- ・長靴が浸かる容器を準備し、中に1割の水に消石灰を10～100グラム入れた消石灰乳を入れて下さい。
- ・消毒薬は、数日で効力が低下しますのでこまめに更新して下さい。
- ・踏み込み消毒槽に泥や土が混入しないようにしてください。

(消毒槽の横に、水をいれた容器を準備して、まず靴底等の泥を落として下さい。)

消毒は毎日実施することが大切です。

大切な家畜を守るために、すぐに始めて、そして、続けてください。